



問 「肥満の漢方治療とはどのようなものですか？」⑧

答 肥満の漢方治療について、お話を続けます。表の「瘀血を伴う場合」の二番目、桂枝茯苓丸についてお話しします。

桂枝茯苓丸は、漢方の重要な古典である「金匱要略」に登場します。構成生薬は、桂枝、茯苓、牡丹皮、芍薬、桃仁です。

「婦人妊娠病」という章に桂枝茯苓丸に関する条文があります。なんともややこしい条文ですので、詳細は省かせていただきます。要するに、桂枝茯苓丸は「妊娠や生理の不調による出血などがみられるときに、血の流れを改善する」お薬です。

図1は、江戸時代に出版された「腹證奇覽」に掲載されている腹証図です。図1は「癥瘕圓」と

なっていますが、桂枝茯苓丸にほんの少しほかの薬草をつけ加えたのが

「癥瘕圓」ですから、図1は桂枝茯苓丸の腹証図と考えて差支えありません。おへその周囲から下の方にかけて所見がありますが、カーテン(?)で隠れていて詳細が不明です。

図2は、私の漢方の師匠が描かれた桂枝茯苓丸の腹証図です。下腹が硬くなっています。血の流れが悪くなっている表れです。あと、おなかの上の方も硬くなっています。水の流れが悪くなっている表れです。桂



図1

肥満の頻用処方

固太リタイプ

ぼうふうつうしょうさん だいさい こうとう
防風通聖散、大柴胡湯、
だいじょうきとう
大承気湯

水太リタイプ

ぼうい おうぎとう えっぴ かじゆつとう
防已黄耆湯、越婢加朮湯、
く み びんろうとう
九味檳榔湯

瘀血を伴う場合

とうかくじょうきとう けいし ぶくりょうがん
桃核承気湯、桂枝茯苓丸

気逆・気鬱を伴う場合

さい こ かりゅうこつぼ れいとう とうかくじょうきとう
柴胡加龍骨牡蠣湯、桃核承気湯、
か み しょうようさん よくかんざん
加味逍遙散、抑肝散、
はん げ こうぼくとう
半夏厚朴湯

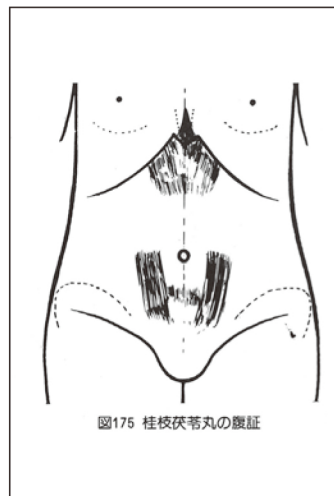


図2

枝茯苓丸は、「血の流れ」「水の流れ」をととのえて、余分なものを、からだから除いてくれます。

(日本東洋医学会、「漢方医学テキスト」)